

今治市学校給食調理場再編整備基本構想策定業務
プロポーザル企画提案 評価項目及び評価基準

1 基本方針

本業務の受託者の選定にあたっては、「今治市学校給食調理場再編整備基本構想策定業務仕様書」などの関係書類を基本としたうえで、提出された企画提案書の内容やヒアリングでの説明、質疑応答から各提案者の次の項目について、評価を行い受託候補者の順位づけを行う。

2 評価項目及び視点、配点

評価は、120 点を満点とし、評価項目別に次のように配点する。

評価項目及び視点	配点 (満点時)
業務遂行力	
(1) 業務実施体制 (20 点)	
① 業務を適正に遂行できる専門技術及び経営規模を有しているか。	10
② 本市との協議や問い合わせに、的確かつ迅速に対応でき、業務を安定的に実施することができる適切な人員体制は十分あるか。	10
(2) 業務実績 (10 点)	
① 本業務を遂行するに足りうる実績を有しているか。	10
(3) 業務等の理解度・考え方 (20 点)	
① 仕様を熟知しているか。	10
② 業務に関連する本市の取り組みを十分理解しているか。	10
企画提案力	
(4) 企画提案内容 (40 点)	
① 本市の特性や実情等を踏まえた提案がなされているか。	10
② 仕様書記載の内容が漏れなく達成されているか。	10
③ 提案書が論理的かつ的確に構成され、分かりやすくなっているか。	10
④ 提案内容の実現性が高く、効果的なものであるか。	10
(5) 工程計画 (10 点)	
① 確実に履行できるスケジュールとなっているか。	10
取組姿勢	
(6) 説明、提案、質疑応答 (10 点)	
① 分かりやすく説得力のある説明・提案・質疑応答がなされたか。 また、事業受託に対する熱意が感じられるか。	10

見積金額	
(7) 見積価格 (10 点)	
① 仕様に沿った価格が提示され、業務実施に支障はないか。	5
② 最小限の費用で、効果的な実施が期待できる提案がなされているか。	5
合 計	120

3 評価

(1) 評価項目 (1) から (6) および (7) の①評価の際には、下表に示す評価基準に基づき A から F までの 6 段階で評価を行い、評価項目ごとの配点に乗じて評価点を算出する。

評価	評価基準	配点の倍率
A	優れている	×1
B	やや優れている	×0.8
C	普通	×0.6
D	やや劣っている	×0.4
E	劣っている	×0.2
F	要件を満たしていない。または、示されていない。	×0

(2) 前項評価項目 (7) の②評価の際には、提案者の見積価格に応じ下表のとおり評価点を算出する。

評価基準及び配点の倍率 (小数点以下切り捨て)	
評価点 (5 点) ×	$\frac{\text{最低見積価格}}{\text{提案者見積価格}}$

4 受託候補者の決定方法

選定委員の評価に従い順位づけを行う。ただし、評価項目 (1) から (7) の①にかかる全委員の平均得点が 6 割 (69 点) に満たない場合は要求水準を満たしていないとみなして、受託候補者とししない。

(最高評価の者が複数いる場合の順位づけ)

- ① 企画提案内容の評価が高い者
- ② ①が複数いる場合は、提案金額の最も安価な者